

Anatomy (2)

1 unit 3rd-year(1st semester)

Tatsuji Haneji · PROFESSOR / HISTOLOGY AND ORAL HISTOROLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Target) 2年次後期で学習した一般組織学についての知識を基盤にし、歯と口腔及びその周組織の正常な構造を顕微鏡レベルで理解し、それに関連する発生学を学ぶ。

Outline) 歯と口腔及びその周辺組織が、どのような細胞と組織から成り立ち、お互いにどのように関連して機能しているかを教授する。

Style) Lecture

Manner) 講義

Location) 第2講義室

Theme) 歯と口腔の正常な構造と機能、その発生過程と相互関係を理解する。

Notice) 解剖学(2)Cの授業では15回の授業で毎回講義事項の「キーワード」を提示する。講義は毎回出席し、ノートをとること。① 毎回次回の講義内容について簡潔に説明する。受講者は各自予習して、学習した内容をノートにまとめる。② 受講者は毎回講義後に復習し、授業のエッセンスをノートにまとめ、理解する。③ 予習・復習ノートの提出を求めることがある。④ 試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。⑤ 予習・復習をすることも出席評価に含まれる。講義内容に関する質問はオフにイスマワーに受けるが、緊急の場合はこの限りではない。

Goal) (＜>内はコアカリ対応)

1. 個体発生と器官発生を概説できる。 <D-2-(2)-1>
2. 味覚器の構造と機能を説明できる。 <D-2-(3)-感覚器系-4>
3. 歯の発生・発育と歯の交換の過程を説明できる。 <F-2-(4)-1-1>
4. 歯の硬組織の構造と機能を説明できる。 <F-2-(4)-1-3>
5. 歯髄の構造と機能を説明できる。 <F-2-(4)-1-4>
6. 歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。 <F-2-(4)-1-5>
7. 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 <D-2-(3)皮膚・粘膜>
8. 口腔粘膜の特徴を説明できる。 <F-2-(3)-1>
9. 舌の構造と機能を説明できる。 <F-2-(3)-2>
10. 唾液線の構造と機能を説明できる。 <F-2-(3)-5>

Schedule)

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	口腔組織学総論, エナメル質(1)	エナメル質の特性	エナメル小柱, レッチウス条	4	羽地
2.	エナメル質(2)	エナメル質の特性 組織学的構造	ハンター-シュレーゲル条, エナメル葉, エナメル叢, エナメル紡錘	”	”

3.	象牙質	象牙質の特性 組織学的構造 象牙質の成長線	象牙細管, 原生象牙質, 第二象牙質, 修復象牙質, 象牙質の石灰化, エブネル線	”	”
4.	歯髄	歯髄の特性 組織学的構造	象牙芽細胞, 歯髄細胞, 歯冠歯髄表層の構造, 血管と神経, 象牙粒	5	”
5.	セメント質	セメント質の特性 組織学的構造	無細胞セメント質, 有細胞セメント質	4	”
6.	顔面と口腔の発生	顔面組織の起源	一次口蓋, 二次口蓋	1	”
7.	歯の発生と成長(1)	発生の初期	歯堤, 唇溝堤, 蕾状期歯胚	3	”
8.	歯の発生と成長(2)	発生の後期	帽状期歯胚, 鐘状期歯胚	”	”
9.	歯周組織(1)	歯根膜の特性と組織学的構造	シャーピー線維, 歯根膜細胞, 脈管神経線	6	”
10.	歯周組織(2)	歯槽骨の特性と組織学的構造	骨芽細胞, 破骨細胞, 束状骨, 層板骨, 支持歯槽骨, 歯の生理的移動	”	”
11.	口腔粘膜(1)	被覆粘膜	口唇, 軟口蓋	7 8	”
12.	口腔粘膜(2)	咀嚼粘膜	硬口蓋, 歯肉	”	”
13.	口腔粘膜(3)	特殊粘膜	舌乳頭, 味蕾, エブネル腺	2 8 9	”
14.	口腔粘膜(4)	扁桃	舌扁桃, 口蓋扁桃	8	”
15.	唾液線	大唾液腺, 小唾液腺	耳下腺, 顎下腺, 舌下腺	10	”

Evaluation Criteria) 3年次前期試験期間中に筆記試験を行い、成績が100点満点で60点以上の者を合格とする。なお、解剖学(2)の単位は解剖学(2) AB講義, 解剖学(2) C講義, 解剖学(2)実習の成績を総合評価して認定する。

Re-evaluation) 行う。

Textbook)

- ◇ カラーアトラス口腔組織発生学 第3版, 川崎堅三他編, わかば出版, 2009
- ◇ Ten Cate 口腔組織学 第6版, 川崎堅三監訳, 医歯薬出版, 2006

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217379>

Contact)

⇒ Haneji (+81-88-633-7321, tat-hane@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月~ 金 17:00-18:00/4F 口腔解剖第二・教室))